

教科別研修講座報告

平成 30 年 8 月 1 日 (水)

C301 小学校理科研修講座

「深い学びを実現させる理科授業づくり」

講師 玉川大学客員教授 八嶋真理子 氏



〈内容の詳細〉

- 1 新学習指導要領で求められる理科授業のあり方について (講義・演習)
 - ・新学習指導要領の具現化、改善のポイント
- 2 深い学びを実現させる理科授業づくりについて (講義・演習)
 - ・講師が先生役、受講者が児童役になり、「主体的・対話的で深い学び」の模擬授業を体感
- 3 全国学調・SASA について、サイエンスラボ活用について (講義)
 - ・所員から全国学調や SASA2017 の課題、サイエンスラボの説明
- 4 深い学びを実現させるための授業づくり (グループ演習・発表)
 - ・全国学調や SASA2017 でみられた課題克服のための授業をグループごとに立案し、発表。講師からの総評。



〈受講者の声〉

- ・とてもわかりやすく、何を大切に授業をつくっていくかが理解できました。特に「見通し」の大切さを学びました。演習では自分自身がとても引き込まれていくのが分かりました。
- ・私は小学校で理科を教えるのが初めてで、何か学びたいという気持ちで受講しました。そういう意味では、今日の研修内容の全てが大いに役に立ちます。ろうそくの演習はずっと忘れません。
- ・理科の見方(物理・化学・生物・地学別)、見える化、数値の大切さなど、必要なことがたくさんある中で、大切なことをしぼってわかりやすく教えて下さいました。
- ・新学習指導要領をしっかり読んで、今求められる力について再確認しようと思います。燃焼の実験はとてもわくわくしました。また、八嶋先生の総評の中で、これからの理科の授業で大切にすべきことをたくさん学びました。
- ・各学年の思考の枠組みが今後の授業において大変役に立つと思いました。それぞれの段階で、どのようなことを重視するのか教師側がしっかりとっておくことで、子どもに付けたい力を付けさせていくことができると感じました。理科の授業そのものの在り方について、考える良い機会となりました。